

平成30年度

第1回 防犯ボランティア活性化フォーラムを開催

平成30年11月21日(水)、刈谷市産業振興センターにおいて、「平成30年度第1回 防犯ボランティア活性化フォーラム」を開催しました。

本フォーラムは、防犯ボランティア団体の課題を洗い出し、解決策を見いだすとともに、防犯ボランティア団体自体やこれを支援する行政、警察がそれぞれ取り組むべき方向性を考える機会とするために開催するもので、自治会や防犯ボランティア団体、自治体職員、警察署員など約170名が参加しました。

<基調講演>

【講師】公益社団法人大阪府防犯協会連合会会長
大阪府堺市登美丘地区防犯委員会委員長 池崎 守氏(※)

【演題】「人をつなぎ 世代をつなく 住民主体の防犯まちづくり」

【概要】

○安心して暮らせる地域社会を築くためには、住民が抱く安全・安心なまちづくりへの『想い』を共有し、世代や活動分野を越えてつながることが必要。

○活動する際には、到達点のイメージが思い描けなくても、まずは「やってみること」が大切で、実際に行動し、経験していく過程で人の輪が大きく広がり、展望が開けるようになる。



○地道な活動を無理なく、楽しく、継続して、誰でもいつでも気軽に参加できるように行うことが安全・安心につながる。

○若い世代を活動に巻き込むには、例えば、20歳代の人には30～40歳代から、40歳代の人には50～60歳代から…というように、対象とする者の少し上の世代から呼び掛けるのが効果的。

(※)池崎氏は、2002年に自宅のある大阪府堺市の登美丘地区で街頭犯罪が頻発したことを機に、地域住民による各種防犯活動を主導し、子供から高齢者まで世代を越えて数百人規模で行う「合同夜間パトロール」を始めとして、住民が主体となった総合的なまちづくりの視点から安全・安心のための様々な取組を推進している。

<防犯ボランティア団体発表>

【発表者】逢妻地区防犯パトロール あいづまもる隊 (豊田市) 宮次 寛治氏

【テーマ】あいづまもる隊の防犯活動

【概要】

○平成26年9月に「気軽に防犯活動」をモットーに、青色回転灯を装備した車両による防犯パトロール活動を開始。

○個人所有車両の青パト登録申請を積極的に行い、50台を超える青パト車両により、地区内のきめ細かなパトロール活動を実施。

○住宅対象侵入盗の実態や手口、防犯器具等についてのポイントを記載した資料を活用し、地区内の住宅を訪問して防犯診断を実施。(29年度に4回実施)

